

3 にぎわい+idea

「基山発」を生み出すアイデアのあるまち

- ア アカデミック(教育)プロジェクト
- 定 定住サプライズプロジェクト
- S SGK(すごか)プロジェクト
- ブ ブランディングプロジェクト
- 満 満足度プロジェクト

(1) 農林業



[主な担当課： 産業振興課]

現 状

農林業経営

- ・ 農地や山林を地域で管理できる組織をつくる必要があります。
- ・ 農林業において、後継者不足の解消と担い手の育成に力を入れていく必要があります。

特産品

- ・ 既存の特産品(お茶、柿、アスパラガス、マコモダケ)の品質向上と販路開拓を行っていく必要があります。
- ・ 地元産の農産物のブランド化や六次産業化(※)など積極的な取組を行っていく必要があります。

(※)六次産業化とは、農業や水産業などの第一次産業が食品加工・流通販売にも業務展開している経営形態

こんな基山にしよう

担い手農家や認定農業者、農業経営に意欲のある農業者に対して農地集積を推進し、農地を地域で管理できる農業をめざそう。

遊休農地及び耕作放棄地の解消のため、高齢農業者や離農者からの農地の貸借を推進し、農地の適正な維持管理をめざそう。

福岡都市圏への近接性を活かし、農産物のブランド化、六次産業化(農園レストラン、ミニ直売所、体験・観光農園など)を図り、収益性の高い農業をめざそう。

ふるさと納税、ギフトブック、通販などを活用して、町の特産物の育成、発掘に力をいれよう。



具体的な施策

1 農林業の維持管理の強化

- 農地の維持管理及び多面的機能を継続するため集落営農組織への活動推進を図ります。
- 農地中間管理事業を活用し、担い手農家や認定農業者、農業経営に意欲ある農業者に対して農地集積を推進します。
- 農林業における若者の新規参入を推進し、継続可能な支援体制づくりを図ります。

2 新しい農業の魅力づくり

- 調整区域内の農地をフル活用し、農産物のブランド化や六次産業化の推進を図りながら農商工連携と併せて魅力ある農業や特産品の販路開拓を推進します。
- 地域産の農作物の学校給食への納入など地産地消を推進します。
- 市街化近郊の農地を有効活用し、農業に関心のある方の活動の場として貸し農園を推進します。
- 集落支援員などを活用し、ふるさと納税、PA直売所、通販、宅配などの事業において、町の特産物をPRし、ブラッシュアップ(磨き上げ)をしていきます。

町民みんなで取り組もう

- 農林業に親しみ、新規参入者を温かく支えよう。
- 地域の農産物を利用し、地産地消に努めよう。
- 農地の提供など、貸し農園の推進に協力しよう。

関連する個別計画

- 人・農地プラン
- 農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想



3 にぎわい+idea

「基山発」を生み出すアイデアのあるまち

- ア アカデミック(教育)プロジェクト
- 定 定住サプライズプロジェクト
- S SGK(すごか)プロジェクト
- ブ ブランディングプロジェクト
- 満 満足度プロジェクト

(2) 工業



[主な担当課： 産業振興課 まちづくり課]

現 状

企業誘致

- ・ 基山町の立地を活かし日本を代表する優良企業が集積しており、この強みを活かす必要があります。
- ・ 今後も産業用地の確保を図る必要があります。
- ・ 経営安定のため地元企業との情報共有を図る必要があります。
- ・ 企業に基山町のPRを図るよう働きかけていく必要があります。

雇用

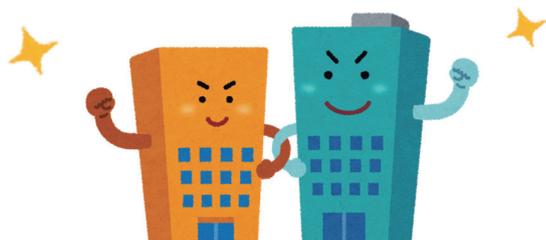
- ・ 企業が集積していますが、町内の若者の雇用につなげることができていない状況があるため、就労支援を図る必要があります。

こんな基山にしよう

利便性の高い地域特性を活かし、関係機関との連携を強化して地域に根ざした未来を担う企業の誘致をめざし、人口増加やにぎわいにつなげよう。

個別企業支援、企業間のネットワーク構築に力をいれるとともに、永続的な企業経営を支援しよう。

地域の中小企業への若者の就職を推進するため、インターンシップや就労マッチングを進め、「働く場のあるまち」にしていこう。(町のハローワーク機能を強化)



具体的な施策

1 企業誘致の推進

- 先進的な新産業分野も視野に入れた企業情報の収集・精査を行い、企業用地などの最新情報と企業誘致奨励金制度などの周知による企業誘致に取り組みます。
- 市街化区域（産業用地）の拡大に努めます。
- 近隣市町との広域連携による情報発信を積極的に推進します。

2 安定運営への支援

- 地元企業の経営安定や育成を図るため、小口融資制度などの利用促進や商工会が行う経営指導、税務・経理指導、経営診断などの事業を支援します。
- 国の中小企業支援策などを積極的に活用するため、商工会と連携し企業訪問などによりニーズの把握・情報の共有を図ります。

3 企業による魅力創造

- 工場見学や社会科見学を推進し、地域貢献や社会教育など新たな魅力創造に努めます。
- 町内の企業と協力して「made in 基山」の魅力をPRしていきます。

4 雇用の確保

- 若者やUIJターン(※)希望者の就労を支援するなど、雇用の場の確保に取り組みます。
(※)大都市圏の居住者が地方に移住する動きの総称のこと。Uターンは出身地に戻る形態、Iターンは出身地以外の地方へ移住する形態、Jターンは出身地の近くの地方都市に移住する形態を指す。
- インターンシップなどを積極的に推進し、雇用の場とのマッチングを図ります。

町民みんなで取り組もう

- 町と企業が互いに協力し魅力を高め合おう。
- 企業は工場見学や社会科見学を推進し、地域貢献や社会教育に協力しよう。

関連する個別計画

- 基山町国土利用計画
- 基山町都市計画マスタープラン

3 にぎわい+idea

「基山発」を生み出すアイデアのあるまち

- ア アカデミック(教育)プロジェクト
- 定 定住サプライズプロジェクト
- S SGK(すごか)プロジェクト
- ブ ブランディングプロジェクト
- 満 満足度プロジェクト

(3) 商業



[主な担当課： 産業振興課 まちづくり課]

現 状

店舗経営

- ・魅力ある商業空間を形成する必要があります。
- ・店舗ごとに安定した継続運営ができるように後継者不足解消などを支援する必要があります。

活用や魅力づくり

- ・小売店舗の魅力を発信していく必要があります。
- ・モール商店街をはじめとしたまちなか資源を十分に活用し活気ある空間を取り戻す必要があります。
- ・新たな魅力創造やイベント展開を連携して行う必要があります。
- ・空き店舗については比較的少ない状況にありますが有効な利活用を検討する必要があります。

買い物

- ・高齢化などによる買い物弱者への対応の充実を図る必要があります。

こんな基山にしよう

商店街や商工会が安定した運営を行える活気のある商業のまちにしよう。

商工会の連携により、各種の集客活動を展開して地元店舗の体質強化をめざそう。

基山駅前周辺やモール商店街を中心に活気ある環境づくりをめざそう。

買い物が困難な住民がよりよく商店を利用できる工夫をしよう。



具体的な施策

1 安定運営への支援

- 継続運営に向けて、国の中小企業支援策を活用するなど、商工会と連携しながら事業承継を支援します。
- 小口融資制度の利用促進を図るとともに他機関の融資制度の周知を行います。
- 商店街や商工会向けの補助事業などを活用した活性化事業の推進を行います。

2 連携による魅力づくり

- 中小企業の経営の安定を図るため、小口融資制度などの利用を促進します。
- 商店街や商工会と連携して魅力ある取組を推進することで、基山駅前周辺を中心市街地の活性化を図ります。
- 基山の食材を活かしたイベント展開、農産物のブランド化や六次産業化など産業間や店舗間の連携を強化し、新しい魅力づくりを推進します。
- モール商店街など基山駅前周辺の空き店舗を活用した魅力的な取組を推進します。
- 町内で起業（創業）する方が起業しやすい環境づくりに取り組みます。また町内の空き店舗を活用したインキュベーション（※）施設の整備について検討を行います。

（※）設立して間がない新企業に国や地方自治体などが経営技術・金銭・人材などを提供し、育成すること。

3 買い物弱者への支援

- 買い物弱者の方の移動手段の確保（コミュニティバスの活用など）や宅配サービスの提供など支援の充実を図ります。
- 宅配サービス情報を整理し、サービスが必要な方へ利用しやすい情報提供を行います。

町民みんなで取り組もう

- 店舗の魅力を発信し、にぎわいのある空間づくりに努めよう。
- 基山町の食材や商品を使うことで地域内消費を拡大しよう。

3 にぎわい+idea

「基山発」を生み出すアイデアのあるまち

- ア アカデミック(教育)プロジェクト
- 定 定住サプライズプロジェクト
- S SGK(すごか)プロジェクト
- ブ ブランディングプロジェクト
- 満 満足度プロジェクト

(4) 観光 定 ブ

[主な担当課： 産業振興課 まちづくり課]

現 状

観光

- ・ 現在は観光に特化した計画がなく、今後はブランド戦略などの計画に基づくシティプロモーションを推進し、観光面に力を入れていく必要があります。
- ・ 地域ブランドが確立できていないため、地域資源のブランド化に取り組む必要があります。
- ・ 観光資源やグルメなどを組み合わせ、町内を巡回できる観光ルートを展開していく必要があります。
- ・ 町内イベントに観光面から活用していく必要があります。
- ・ 交流人口を増加させるべく、町をあげて観光客を受け入れるおもてなし体制の充実を図り、町全体の回遊性を高める必要があります。

こんな基山にしよう

町民、観光協会、商工業者、農林業者、行政が連携しながら地域資源をブランド化し、シティプロモーションを推進しよう。

観光客や立ち寄り客などを受け入れるおもてなしの体制を町全体で高めていこう。



具体的な施策

1 基山町の地域資源を売り出す（シティプロモーション）

- ブランド戦略を策定し、計画的な観光施策の充実を図ります。
- SNS（※）やメディアを駆使して情報発信を行うとともに、地域おこし協力隊制度を活用して全世界へ基山町の地域資源を売り込みます。
（※）SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）とは、人と人とのつながりを促進・サポートする、コミュニティ型のWebサイト。
- 恋人の聖地「大興善寺契山」を活用しターゲットを絞ったブランディングや新たな地域ブランドの掘り起こし（商品開発、PR戦略）を行い、シティプロモーションを推進します。
- 県境の地の利を活かし、JR九州ウォーキングやきのくに祭り、ふ・れ・あ・いフェスタなど町内イベントの充実と集客の強化、町外への情報発信を図ります。
- 大興善寺、基肆城跡、基山（きざん）、長崎街道などの自然・歴史文化と酒造や食事スポットといったそれぞれの特性を組み合わせた観光ルートを展開します。
- 新たな拠点開発、既存拠点の見直しなどを通じた甘木鉄道沿線の広域観光ネットワークを構築します。
- 基山PAを活用した拠点形成やイベント開催などによるシティプロモーションを図り、交流人口の拡大を図ります。
- 基山町の独自グルメの開発・展開を図ります。
- 広域連携による観光PRを積極的に推進します。

2 おもてなし体制の強化

- 観光客を受け入れるためのおもてなし体制の充実を図ります。
- 新たな特産品のPRのため、六次産業化への取組を推進します。
- 外国人観光客を含めたおもてなし環境の強化として、トイレ環境、町内マップ、サイン看板、Wi-Fi環境などの整備を行います。

町民みんなで取り組もう

- 町内イベントを町全体で盛り上げよう。
- 観光協会を中心に、町一体となって観光客を受け入れるおもてなし体制に協力しよう。
- 観光客が心地よく滞在できるようきれいなまちづくりに協力しよう。



3 にぎわい+idea

「基山発」を生み出すアイデアのあるまち

- ア アカデミック(教育)プロジェクト
- 定 定住サプライズプロジェクト
- S SGK(すごか)プロジェクト
- ブ ブランディングプロジェクト
- 満 満足度プロジェクト

(5) 基山発 ア 定 ブ

[主な担当課： 総務企画課 財政課
まちづくり課]

現 状

情報発信

- ・町の魅力を広く発信するため、ホームページやSNSの活用など多角的な伝達手段を活用していく必要があります。
- ・情報を届けたい相手の年齢層や世代の特徴に合わせて使用するツールを選ぶ必要があります。

こんな基山にしよう

町内の情報環境整備に取り組み、複数のメディアを活用した幅広いPRをめざそう。

町のホームページなどエンターテインメント性をもって、見て楽しめるものをつくろう。

町民や基山町出身者、みんなで魅力ある基山町の情報を町外へ発信し、「基山町へ行ってみたい」、「基山町に住んでみたい」という地域ブランドづくりをめざそう。





具体的な施策

1 どこでもつながるWi-Fi環境

- 公共施設などへのWi-Fi環境を整備するなど情報環境の充実を図ります。

2 基山色豊かで積極的な情報発信

- 「きやまん」や基山のイメージカラー「黄色」を積極的に活用した基山イメージの定着を図ります。
- 町のホームページをはじめSNSや動画などインターネットを活用して、それぞれの特徴に応じた情報発信に積極的に取り組みます。
- メディアを積極的に活用して、植林発祥の地「基山(きざん)」や日本最古の朝鮮式山城「基肆城跡」などの基山発を町外に基山町を売り込みます。
- 町職員自らが町の広告塔として情報発信に取り組みます。

3 情報発信力を定住推進へ活用

- 民間企業やメディアとの連携により戦略的な情報発信を行い、交流人口の拡大と定住促進につなげます。

町民みんなで取り組もう

- 魅力ある基山町の情報を町外に向けて広く発信していこう。
- 町外に住む基山町出身者も、ふるさと基山の魅力ある情報を発信していこう。
- 町のPRになる情報を積極的に行政へ提供しよう。